



平成29年12月13日

各位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 取 締 役 小 林 直 樹
財 務 担 当
(TEL.03-5472-1578)

テロメライシン®(OBP-301)と抗 PD-1 抗体ペムブロリズマブの併用に関する 医師主導治験 第一例目への投与開始のお知らせ(開示事項の経過報告)

当社は、平成 28 年 8 月 10 日開示の『国立研究開発法人国立がん研究センター東病院との OBP-301 に関する医師主導治験契約締結のお知らせ』において、腫瘍溶解ウイルス テロメライシン®(OBP-301)と抗 PD-1 抗体との併用による効果検討に関する契約締結を公表しておりますが、この度、同院(以下「国立がん研究センター東病院」)にて、第一例目の被験者への投与が開始(FPI: First Patient In)されましたので、お知らせいたします。

本試験では、最大28例の進行性又は転移性固形癌患者を対象とし、テロメライシン®とMSD株式会社の抗PD-1抗体ペムブロリズマブを併用投与した際の安全性・忍容性などの評価検討を行います。この治験はテロメライシン®と抗PD-1抗体との初めての併用試験になります。

当社では、これまでの研究で、テロメライシン®の腫瘍溶解作用がCTL活性(細胞傷害性T細胞活性)を誘導することによる腫瘍免疫増強効果を検討してまいりました。また、テロメライシン®は、現在米国でメラノーマ Phase II 臨床試験が進行中のほか、台湾・韓国での肝細胞がん Phase I / II 試験では、単剤単回投与での最大投与量までの安全性が確認され、反復投与によるCohort 5への投与が行われております。国内では、日本初のテロメライシン®企業治験となる放射線併用での食道がん Phase I 臨床試験が進められています。

本件による平成29年12月期業績への影響はありませんが、当社は、「がんを切らずに治す」というコンセプトに基づき開発を進めているテロメライシン®と他の治療法との併用に関する研究開発を今後も進めていくことで、医療現場の一助となるがん治療法の発展に貢献していくことを、今後も目指してまいります。

以 上